様式３(2015.06改)

作成日　平成 31 年 2 月 20 日

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2374500516
事業所名	グループホーム　さくら･ひまわり

【重点項目への取組状況】

		評価
重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：２）	
	町内会に加入し、地域の行事(祭り、清掃、運動会)など利用者と一緒に参加している。 保育園児の相互訪問、中学生の職場体験学習、ボランティアの訪問など日常的に交流している。 買い物は地域の店舗に出かけ、顔なじみになっている。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：３）	評価
	運営推進会議は市の規定どおり、今年度五回開催している。　参加者は市職員、町内会役員、利用者、家族などで、ホームの状況や活動を報告している。外部評価の結果や取り組み、また参加者からの意見や要望などを検討して、サービス向上に努めている。	○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：４）	評価
	尾張旭市職員、地域包括支援センター職員、介護事業者などが参加する、月一回開催の「事業者連絡会」に管理者が参加して意見交換、情報収集を行っている。　市主催の研修会には管理者や職員が積極的に参加している。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：６）	評価
	毎月「ホーム便り」と一人ひとりの「生活の様子」「私たちが気にしていること」を家族に郵送して情報を伝えている。　玄関に鳥の置物「ご意見箱」を設置して、いつでも気づいたときに意見、要望が云えるようにしている。　家族の面会時には、職員、管理者が面談して意見、要望を聞き出すよう努めている。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

１．外部評価軽減要件

①　別紙４の「１　自己評価及び外部評価」及び「２　目標達成計画」を市町村に提出していること。

②　運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されていること。

③　運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。　買い物は地域の店舗を利用して顔なじみになっている。

④　別紙４の「１　自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の２、３、４、６の実践状況（外部評価）が適切であること。

２．外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確　認　事　項
２．事業所と地域のつきあい	（例示） ①　自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、 消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ②　地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
３．運営推進会議を活かした取り組み	（例示） ①　運営基準第８５条の規定どおりに運用されている。 ②　運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
４．市町村との連携	（例示） ①　運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ②　市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
６．運営に関する利用者、家族等意見の反映	（例示） ①　家族会を定期的（年２回以上）に開催している。 ②　利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③　家族向けのホーム便り等が定期的（年２回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
総合評価	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	